



## 2023年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2022年8月5日

上場会社名 株式会社中京医薬品 上場取引所 東  
 コード番号 4558 URL http://www.chukyoiyakuhin.co.jp/  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 米津 秀二  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役コーポレート本部長 (氏名) 飯田 亨 TEL 0569-29-0202  
 四半期報告書提出予定日 2022年8月10日 配当支払開始予定日 ー  
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無  
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年3月期第1四半期の業績 (2022年4月1日～2022年6月30日)

#### (1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第1四半期	1,508	9.9	49	80.5	55	65.3	28	149.0
2022年3月期第1四半期	1,372	△6.6	27	△72.7	33	△68.2	11	△78.1

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第1四半期	2.67	—
2022年3月期第1四半期	1.11	1.11

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期第1四半期	5,678	2,619	46.1	246.49
2022年3月期	5,339	2,618	49.0	246.38

(参考) 自己資本 2023年3月期第1四半期 2,619百万円 2022年3月期 2,618百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	2.50	—	2.50	5.00
2023年3月期	—				
2023年3月期 (予想)		2.50	—	2.50	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

### 3. 2023年3月期の業績予想 (2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,553	3.6	100	56.2	117	39.2	43	30.3	4.04

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期1Q	11,660,734株	2022年3月期	11,660,734株
② 期末自己株式数	2023年3月期1Q	1,032,073株	2022年3月期	1,032,687株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期1Q	10,628,278株	2022年3月期1Q	10,260,100株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	6
第1四半期累計期間 .....	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	7
(セグメント情報等) .....	7
(収益認識関係) .....	8
3. その他 .....	8
継続企業の前提に関する重要事象等 .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、雇用調整や所得環境の改善を背景に、景気は穏やかな回復基調が続いているものの、東欧における軍事侵攻や中東地域の地政学リスク、米中の確執など、世界経済の不確実性の高まりに加え、いまだ終息の見通しが立たない新型コロナウイルス感染症が内外経済に与える影響などにより、先行きは依然として不透明な状況が続いております。

このような環境の中で、当社は企業理念として掲げる「健康づくり、幸福づくり、人づくり」の具現化に向けて、お客さまの生活を支えるための商品や情報・サービスを多角的・多面的に拡充するトータルライフ・ケアを推進してまいりました。また、当社ならではの「ふれあい業」による人と人との絆によるヒューマンネットワークを広げ、お客さまや市場に継続的に評価をいただくことに努め、収益力と企業体質の強化を図ってまいりました。

その結果、当第1四半期における売上高は1,508百万円（前年同期比9.9%増）、営業利益は49百万円（前年同期比80.5%増）、経常利益は55百万円（前年同期比65.3%増）、四半期純利益は法人税等調整額23百万円を計上したため28百万円（前年同期比149.0%増）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

#### ①家庭医薬品等販売事業（小売部門・卸売部門）

小売部門においては、事業基盤の強化として配置薬などの委託販売を推進することにより安定した収益基盤の確立に取り組みました。また成長戦略として、新たに顧客営業権（のれん）を購入し、静岡県に藤枝営業所、沼津営業所、伊東営業所、浜松西営業所の新規出店を致しました。更に健康関連商品の販売や新型コロナウイルス感染拡大による衛生関連商品などの販売を積極的に行いました。

今後は積極的な採用活動と共にお客様とのふれあいの強みを活かして更なる新しいサービスや価値創造に注力してまいります。

卸売部門の売上高につきましては、感染予防の意識が高まったものの、除菌・アルコール商品や夏季マスクの継続的な販売を行いました。また飲料における他企業のOEM（プライベートブランド）の販売もあり増収となりました。今後についても市場動向を見ながら新型コロナウイルス禍における経済社会の環境変化をタイムリーに即応するよう努めてまいります。

その結果、売上高は1,349百万円（前年同期比11.0%増）、セグメント利益57百万円（前年同期比42.8%増）となりました。

#### ②売水事業部門

昨今の健康志向ブームによる飲料水へのこだわりと、拡大するミネラルウォーター宅配市場の成長性、更に防災対策としての水の備蓄や熱中症対策としての水の必要性等により、早期に中核事業の1つとして確立することを目指しております。「事業基盤の強化」として抗菌カートリッジやサーバーメンテナンスにより安全性の強化を図りました。除菌用アルコール製品の製造・販売についても、継続的な販売を行ってまいりました。

その結果、売上高は158百万円（前年同期比1.3%増）、セグメント損失8百万円（前年同期はセグメント損失13百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期会計期間末における流動資産は3,318百万円となり、前事業年度末に比べ161百万円増加いたしました。これは主に受取手形、売掛金及び契約資産の増加207百万円、現金及び預金の減少68百万円によるものであります。固定資産は2,359百万円となり、前事業年度末に比べ177百万円増加いたしました。これは主に無形固定資産の増加161百万円によるものであります。

この結果、総資産は5,678百万円となり、前事業年度末に比べ338百万円増加いたしました。

(負債)

当第1四半期会計期間末における流動負債は2,401百万円となり、前事業年度末に比べ382百万円増加いたしました。これは主に短期借入金の増加140百万円、支払手形及び買掛金101百万円、賞与引当金の増加71百万円、電子記録債務の増加33百万円によるものであります。固定負債は657百万円となり、前事業年度末に比べ44百万円減少いたしました。これは主に長期借入金の減少41百万円によるものであります。

この結果、負債合計は、3,058百万円となり、前事業年度末に比べ337百万円増加いたしました。

(純資産)

当第1四半期会計期間末における純資産は2,619百万円となり、前事業年度末に比べ1百万円増加いたしました。これは主に利益剰余金の増加1百万円によるものであります。

この結果、自己資本比率は46.1%（前事業年度末は49.0%）、1株当たり純資産額は246.49円（前事業年度末は246.38円）となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期の業績予想につきましては、2022年5月13日付けにて発表しました業績予想からの変更はありません。詳細につきましては「2022年3月期決算短信」をご覧ください。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2022年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,443,246	1,375,151
受取手形、売掛金及び契約資産	472,098	679,283
電子記録債権	32,437	39,138
商品及び製品	572,463	570,745
委託商品	473,927	505,679
仕掛品	83	80
原材料及び貯蔵品	43,744	47,142
その他	125,049	109,842
貸倒引当金	△5,853	△8,262
流動資産合計	3,157,197	3,318,799
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	467,937	460,372
土地	1,198,806	1,198,806
その他(純額)	29,020	27,377
有形固定資産合計	1,695,764	1,686,556
無形固定資産		
81,246		242,564
投資その他の資産		
前払年金費用	103,622	104,740
その他	306,063	330,003
貸倒引当金	△4,609	△4,434
投資その他の資産合計	405,076	430,309
固定資産合計	2,182,088	2,359,430
資産合計	5,339,285	5,678,230
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	256,851	358,282
電子記録債務	123,324	156,689
短期借入金	910,000	1,050,000
1年内返済予定の長期借入金	183,346	175,015
未払法人税等	60,302	57,512
賞与引当金	132,920	204,888
その他	352,255	398,904
流動負債合計	2,019,000	2,401,291
固定負債		
長期借入金	301,729	260,065
退職給付引当金	151,714	151,351
株式給付引当金	32,269	33,390
資産除去債務	2,488	2,503
長期未払金	178,120	178,120
その他	35,376	31,638
固定負債合計	701,698	657,068
負債合計	2,720,698	3,058,359

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2022年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	681,012	681,012
資本剰余金	529,060	529,060
利益剰余金	1,708,015	1,709,290
自己株式	△305,923	△305,750
株主資本合計	2,612,164	2,613,612
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	6,422	6,258
評価・換算差額等合計	6,422	6,258
純資産合計	2,618,587	2,619,870
負債純資産合計	5,339,285	5,678,230

(2) 四半期損益計算書  
(第1四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
売上高	1,372,730	1,508,592
売上原価	420,226	520,969
売上総利益	952,503	987,622
販売費及び一般管理費	925,061	938,084
営業利益	27,441	49,538
営業外収益		
受取利息	3	1
受取配当金	472	576
受取家賃	3,959	4,083
その他	2,719	2,291
営業外収益合計	7,154	6,953
営業外費用		
支払利息	1,120	1,157
その他	0	0
営業外費用合計	1,120	1,157
経常利益	33,475	55,333
税引前四半期純利益	33,475	55,333
法人税、住民税及び事業税	53,518	50,542
法人税等調整額	△31,443	△23,599
法人税等合計	22,075	26,942
四半期純利益	11,399	28,391

## (3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第1四半期累計期間(自2021年4月1日 至2021年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 損益計算書 計上額 (注) 3
	家庭医薬品等販売事業		売水事業 部門	計				
	小売部門	卸売部門						
売上高								
小売販売及び 卸売販売	790,212	179,652	155,992	1,125,856	888	1,126,744	—	1,126,744
配置販売	245,984	—	—	245,984	—	245,984	—	245,984
顧客との契約 から生じる収益	1,036,196	179,652	155,992	1,371,841	888	1,372,730	—	1,372,730
外部顧客への 売上高	1,036,196	179,652	155,992	1,371,841	888	1,372,730	—	1,372,730
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	8,773	8,773	—	8,773	△8,773	—
計	1,036,196	179,652	164,765	1,380,614	888	1,381,503	△8,773	1,372,730
セグメント利益又 は損失(△)	40,601	△146	△13,013	27,441	—	27,441	—	27,441

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含んでいない事業セグメントであり、保険事業部門等を含んでおります。

2. 調整額はセグメント間取引消去によるものです。

3. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## Ⅱ 当第1四半期累計期間(自2022年4月1日 至2022年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 損益計算書 計上額 (注) 3
	家庭医薬品等販売事業		売水事業 部門	計				
	小売部門	卸売部門						
売上高								
小売販売及び 卸売販売	792,037	261,282	158,095	1,211,415	572	1,211,988	—	1,211,988
配置販売	296,604	—	—	296,604	—	296,604	—	296,604
顧客との契約 から生じる収益	1,088,642	261,282	158,095	1,508,020	572	1,508,592	—	1,508,592
外部顧客への 売上高	1,088,642	261,282	158,095	1,508,020	572	1,508,592	—	1,508,592
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	4,551	4,551	—	4,551	△4,551	—
計	1,088,642	261,282	162,646	1,512,571	572	1,513,143	△4,551	1,508,592
セグメント利益又 は損失(△)	41,899	15,859	△8,220	49,538	—	49,538	—	49,538

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含んでいない事業セグメントであり、保険事業部門等を含んでおります。

2. 調整額はセグメント間取引消去によるものです。

3. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と一致しております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

家庭医薬品等販売事業の小売部門において、企業価値向上のため顧客の増加と営業エリア拡大による営業権(のれん)を譲受しました。なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第1四半期累計期間において169百万円であります。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、「注記事項(セグメント情報等)」に記載のとおりであります。

## 3. その他

継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。